

【詰め襟を着用する場合】

冬服	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標準服で黒の上（詰め襟）・下を着用する。 ○ 中着として、フードのついた服は禁止。 ○ ボタンは指定のボタンとし、上からきちんと留める。 ○ <u>中着として着るものは白・黒・紺・グレー・ベージュ・茶色とし、下や袖、カラーから出さないようにする。</u>
夏服	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標準服またはそれに準じる白の半袖か長袖のカッターシャツ、開襟シャツ、ポロシャツとする。（ポロシャツは白無地でワンポイントなし） ○ シャツを出さないようにし、ボタンは2つ目から下は留める。 ○ <u>中着でTシャツ着用の場合、白・黒・グレー・ベージュ色でワンポイントまでとする。バックプリントや色柄ものは禁止。</u>

【セーラー服を着用する場合】

冬服	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標準服で上下紺のセーラー服を着用する。 ○ 袖口のボタンをきちんと留める。 ○ <u>中着として着るものは白・黒・紺・グレー・ベージュ・茶色とし、下や袖からはでないようにする。襟元からはできるだけ出さないようにする。</u> ○ スカートの丈は、ひざの下端までが隠れるくらいにする。 ○ 白帯を極端に小さく結ぶことも禁止。10cmを目安とする。 ○ 防寒着のカーディガンは、黒・紺の無地を原則とする。着用は、冬服の上に着るようにする。左胸には夏用名札をつける。
夏服	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上着は標準服指定またはそれに準じる白の半袖か長袖のカッターシャツ、開襟シャツ、ポロシャツとする。（ポロシャツは白無地でワンポイントなし）白のブラウスも可。紺のジャンパースカートを着用する。 ○ ボタンは2つ目からは留める。 ○ <u>中着でTシャツ着用の場合、白・黒・グレー・ベージュ色でワンポイントまでとする。バックプリントや色柄ものは禁止。</u> ○ スカートの丈は、ひざの下端までが隠れるくらいにする。

【スタンダードタイプを着用する場合】

冬服	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬服の着こなしの基準は現行の標準服に準じるものとする。 ○ 冬の現行標準服とスタンダードタイプを交差させて着ることは不可。 ○ ジャケットの下の防寒着は黒・紺の無地のカーディガン、セーター、ベストを可とする。 ○ 防寒着の丈についてはジャケットの下から出ないようにする。 ○ 体温調節のためにジャケットを脱いでポロシャツになる場合はポロシャツに名札をつける。 ○ ジャケットを着ずに、防寒着着用のまま行動することは不可とする。 ○ スカートの丈は、ひざの下端までが隠れるくらいにする。 ○ <u>中着でTシャツ着用の場合、白・黒・グレー・ベージュ色でワンポイントまでとする。バックプリントや色柄ものは禁止。</u>
夏服	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏服の着こなしの基準は現行の標準服に準じるものとする。 ○ 夏服においては現行の夏服と交差して着ることは可とする。（スタンダードタイプのスラックスにカッターシャツなど） ○ 夏服のポロシャツ、カッターシャツ、開襟シャツはズボンの中に入れる。 ○ ポロシャツのボタンは第一ボタンまではずしてよいものとする。（開襟シャツを除く） ○ スカートの丈は、ひざの下端までが隠れるくらいにする。 ○ <u>中着でTシャツ着用の場合、白・黒・グレー・ベージュ色でワンポイントまでとする。バックプリントや色柄ものは禁止。</u>

【共通事項】

<p>頭 髪</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常に清潔にし、<u>極端な刈り上げや剃り込みなどの特殊な髪型をしない。</u> (染色、脱色、パーマ、整髪料等は禁止) ○ <u>前髪は目にかからないようにし、髪が肩まで伸びたら黒・紺・茶のゴムひもで結ぶ。</u> (耳やこめかみのラインより高い位置で結ばないようにする。) ○ 髪の結び方は、<u>1つ結び・2つ結び・ハーフアップ・お団子・三つ編み</u>を可とし、<u>頭の真ん中の位置で結ぶ。</u>※お団子と三つ編み等の合わせ技はなし。 ○ 前髪や横髪を垂らさない。長い場合は、黒や紺のピンで留める。 ○ 整髪料は使用しない。
<p>眉 毛</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 眉毛を薄くしたり、補足したり、形を変えたりしない。
<p>名 札</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬服は、本校規定の名札を左胸に縫いつける。夏服は、名札をカバーに入れ、左胸に安全ピンでとめる。 ○ 名札は2カ所の穴に安全ピンを通し留める。 ○ 名札を改良しない。中にシールをつけたりなどしない。 ○ 忘れた場合は、生徒指導用のものをつけさせるようにし、必ず付けさせる。 ○ セーラー服にカーディガンを着用する際は、夏服用の名札を左胸に安全ピンでとめる。
<p>防寒着・ 防寒具 (原則： 11月～ 3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>登校時の防寒着として、華美・高価ではなく、丈は上半身程度のものを認める。</u>ベンチコートは不可とする。<u>着脱は下足置き場で行い、教室ではカバンの中に入れる。</u> ○ マフラー(ネックウォーマーは可)・手袋は登下校時のみとし、校舎内での着用は認めない。着脱は登下校時のみ、廊下でも可とする。 ○ ニット帽と耳当ては禁止とする。 ○ 黒タイツの着用を認める。
<p>カバン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>学校指定のスリーウェイバッグ(引野バッグ)を使用し、補助として指定サブバッグや他のバッグを認める。</u>ただし、学年行事等指示が出れば、サブバッグのみの登校も可能。 ○ バッグには何も付けない。(御守りは1つまでは認めるが、外に出さない) ○ バッグには落書き等はしない。
<p>上履き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年別に指定された上履きをはき、校舎内と校舎周辺のコングリート部分以外は使用しない。 ○ 氏名を記入し、かかとを踏んだり、落書きをしたりしない。落書きをした場合は消させる。
<p>ベルト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ベルトは黒・紺・茶とする。セーラー服のベルトは付属のものを使用する。 ○ 腰パンなどルーズなはき方をしない。 ○ ベルトは単色で、バックルやベルト穴等に過度に金属装飾のついたものは禁止とする。
<p>靴 下</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>色は白と黒は可(ワンポイントまで可)</u> ※ワンポイントとは足首の2つ程度。 ○ ルーズソックスは禁止。 ○ くるぶしが完全に隠れるものとする。
<p>靴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育の授業に使える運動靴とする。(マジックテープ可・ハイカットは禁止)
<p>携行品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習に必要なでない物は持ってこない。(携帯電話・スマートフォン、お菓子、多額のお金など) ○ 携帯電話・スマートフォンは原則禁止。 ○ ピアスや指輪、ブレスレット、ミサンガやカラーバンド、ネックレス(健康用を含む)など装飾品も同様に原則禁止。 ○ ゲーム機、カード類、マンガ・雑誌なども同様に原則禁止。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ アイプチや色付きリップは禁止とする。 ○ 制汗剤についてはスプレー、液体のものは禁止とする。 ○ 汗拭きシートは無香料であれば許可する。 ○ 日焼け止め、ハンドクリーム、リップについては無香料のものとする。 ○ ピアスの穴はあけない。

